

令和 8 年度事業計画

【事業計画】

政府が令和 7 年 2 月に閣議決定した第 7 次エネルギー基本計画では、エネルギー安全保障と脱炭素化の同時達成に向け、再生可能エネルギーとともに原子力を最大限活用する方針が示された。計画では、次世代革新炉の開発・導入や、安全性向上、人材育成の強化など、原子力政策の具体化に向けた方向性が明確に示されており、令和 8 年度はこれらの取組みが本格的に進展する重要な年となる。

茨城県では、次世代革新炉の開発として日本原子力研究開発機構による高速実験炉「常陽」の再稼働や高温ガス炉「HTTR」による水素製造実証に向けた取組みが着実に進められており、また、日本原子力発電㈱の東海第二発電所においては、安全対策工事や地域とのコミュニケーションが継続して進められ、茨城県の原子力分野における位置付けは一段と重要性を増している。

また、生成 AI の急速な普及やデジタル社会の進展に伴い、大規模データセンターの整備が進むことで電力需要が増大し、安定的な電力供給の重要性が改めて認識されている。こうした社会構造の変化の中で、原子力や放射線利用に対する県民の関心は高まりつつある。一方で、インターネットや SNS を通じて多様な情報が瞬時に拡散する現代において、科学的根拠に基づく正確で分かりやすい知識の普及と啓発は、これまで以上に重要な課題となっている。県民が冷静かつ主体的に判断できる環境を整えることは、地域の安全・安心の確保に不可欠である。

こうした状況のもと、「広く県民に、放射線の基礎知識と原子力の安全等に関する幅広い知識の普及と啓発を行い、もって放射線及び原子力に関する科学技術の振興に寄与する」ことを目的とする当協議会の役割は、ますます重要性を増している。令和 8 年度は、第 3 期中期計画の 2 年目として、財務基盤の健全化を図りつつ、科学館事業および普及啓発事業を計画的かつ効果的に推進し、県民の理解促進に一層取り組んでいくとともに、ガバナンスの一層の強化にも努めていく。

I 科学館事業

1 原子力科学館の常設展示及び企画展示

(1) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示 ・ガイダンスシアター「アトミックトラベル-原子の力-」 ・ラジエーションボックス -放射線の正体-（世界最大級の霧箱等） ・ネイチャータウン -自然界の放射線- ・テックストリート -人と放射線・原子力の利用- ・ボイスフィールド -未来の私たち-

②	原子力研究機関情報コーナー	通年	日本原子力研究開発機構の研究開発状況をモニター映像及びパネルで展示
③	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 東海第二発電所における安全対策をパネル等で展示
④	JCO 臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 JCO 臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑤	梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞及び J-PARC とスーパーカミオカンデを繋ぐ T2K 実験の解説パネルを展示

(2) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	企画展「地球飯」	5/16～6/7	「食」は環境問題だけでなく、社会的格差も含む複雑な問題を引き起こしています。地球にも人にも健康的で持続可能な食とは何かを考えるパネル展示
	講演会「海の生き物のご飯のおはなし」(仮)	6 月	～海の生きものはどんなものを食べているのかな?～ 講師：アクアワールド茨城県大洗水族館
②	講演会「流れ星と冬の星座のおはなし&星空観望会」	12/13	～ふたご座流星群とスバルを見てみよう～ 講師：土浦第三高等学校 岡村典夫 先生
③	企画展「世界一新しい花崗岩のヒミツ」	2/20～3/7	日本の北アルプスに実在する「世界一新しい花崗岩」のヒミツに迫る展示
	講演会「身近にあります花崗岩！」(仮)	3 月	講師：茨城大学名誉教授 田切美智雄 先生

(注) 企画展①及び③は全国科学館連携協議会との共催

(3) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	第38回アートロード展	3/31～4/12	東海村に居住又は勤務する文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品(絵画・写真・書)を展示
②	ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト	9 月	小中学生の平和に関するポスター展

(注) 企画展示以外の期間について利用者を随時募集

2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3、4	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか
(2)	夏休みイベント	7/18～8/30	アインシュタイン博士の謎解き挑戦状ほか
(3)	クリスマスイベント	12/19、20	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか
(4)	親子星空観望会&ナイトミュージアム	1～2月	惑星や星座の観望
(5)	春休みイベント	3月	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか

3 近隣科学館等との連携

- (1) 実験・工作教室等
- (2) スタンプラリー及びスタンプチャレンジ
- (3) 職場体験の受入れ
- (4) 第38回原子力広報機関連絡会

4 原子力科学館の運営管理

(1) 情報発信

- ① イベント情報等の発信
- ② SNSの活用

(2) 誘客広報

- ① 県内各小中学校に対し、原子力科学館を校外学習の場として利用するよう働きかけ
- ② 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
- ③ 茨城県内の公共施設及びバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ④ 原子力科学館の年間イベントスケジュールをホームページ上にて早期発信
- ⑤ 「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」のサイクルサポートステーションへの登録
- ⑥ サイクリングいばらき内の「学びの東海ライド」において立ち寄りスポットとして登録

(3) 安全対策及び施設改修等

- ① 地震時避難誘導訓練（随時）
- ② 火災時の通報訓練、消火器取扱訓練（2回/年）
- ③ 普通救命講習会（1回/年）
- ④ 段差解消機、受電設備等の定期点検（随時）

(4) 臨時休館等

施設設備の保守点検や改修・更新を安全かつ計画的・集約的に実施するため、繁忙期以外の時期において、必要に応じて臨時休館等の期間を設ける。

Ⅱ 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	教員向けセミナー	8 月	【茨城県からの受託事業】 原子力教員セミナー 対象：県内の教職員、教育委員会職員等 ① 動画配信 講義「放射線の基礎知識」 ② 実習「身の回りの放射線測定体験」、「目で見る放射線観測体験」及び原子力関連施設見学
(2)	学校への専門家派遣事業	7～2 月	【茨城県からの受託事業】 茨城県内の小・中学校、高等学校に原子力専門家を派遣(又は原子力科学館に来館)し、授業の一環として、放射線に関する実験や講義を実施
(3)	原子力と放射線の基礎知識普及・啓発講座事業	7～3 月	【茨城県からの受託事業】 茨城県民を対象に、原子力専門家による原子力と放射線に関する基礎知識の普及啓発講座を実施
(4)	原子力災害時に取るべき行動等に係る知識普及・啓発講座	7～3 月	【茨城県からの受託事業】 開催会場を訪問(又は原子力科学館に来館)して、原子力災害時に取るべき行動等に係る知識普及・啓発講座を実施
(5)	出前原子力展示	9 月 10 月 11 月 11/23	市町村等のイベントにおいて、パネル展示や放射線測定器による測定体験など、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 ① 2026 市民生活安全フェスティバル(日立市) ② いい那珂フェスティバル ③ 大洗商工感謝祭&大洗あんこう祭 ④ 東海 I～MO のまつり
(6)	サイエンス工房	4～3 月	児童・生徒等を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施
(7)	ひたちなか市原子力科学工作教室	8 月	【ひたちなか市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(8)	那珂市原子力科学工作教室	8 月	【那珂市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(9)	鉾田市原子力工作教室	1 月	【鉾田市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(10)	東海村原子力防災入門講座、原子力視察研修	11～12 月	【東海村からの受託事業】 入庁 1、2 年目職員及び中堅職員の視察研修等

(11)	視察研修・研修会	10/9	視察研修 東京電力 HD(株)福島第一原子力発電所等
(12)	新春のつどいの開催	1/13	会場 : 水戸プラザホテル 参加人数 : 約 330 名(予定) 出席者 : 知事、国会議員、県議会議員、 市町村長、正会員、賛助会員等 出展ブース : 県南地域市町村及び会員企業、 (公社)茨城原子力協議会

2 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	2 回/年
発行部数	5,000 部(2,500 部×2 回)
主な内容	第 96 号(7 月発行予定) ・令和 8 年度定時総会、ゴールデンウィークイベント報告、市町村夏のイベント情報、展示館イベント情報他 第 97 号(3 月発行予定) ・令和 9 年新春のつどい、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

※茨城原子力協議会ホームページにも掲載し、情報発信を行う。

(2) 放射線監視・防災対策専門員事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
配置先及び 配置人数	茨城県：2 名、東海村：1 名 日立市、常陸太田市、那珂市、茨城町、大洗町：3 名で対応
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

(3) 東海村原子力安全対策支援事業【東海村からの受託事業】

実施時期	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
配置先及び 配置人数	東海村：2 名
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

(4) 監視データ整理事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 8 年 5 月下旬～令和 9 年 3 月 31 日
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷 80 部×4 回 監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷 100 部×1 回 環境放射線監視季報取りまとめ、印刷 166 部×1 回

(5) 原子力広報業務事業【茨城県からの受託事業】

ラジオ広報	
実施時期	令和9年2月～3月
実施回数	40回(2回／日)
実施内容	茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A形式で実施
動画広報	
実施内容	ラジオ広報のQ&A形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

Ⅲ 総会・理事会等（予定）に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月下旬	令和7年度事業報告及び収支決算、定時総会の開催
定時総会	6月下旬	令和7年度事業報告及び収支決算、理事の選任、監事の選任
第2回理事会	定時総会終了後	(必要があれば役員の選定)
第3回理事会	11月下旬	令和8年度収支予算の補正(案)等
第4回理事会	2月下旬	令和8年度事業報告、収支予算の補正及び収支決算見込み、令和9年度事業計画及び収支予算等

Ⅳ 組織体制等に関する事項

協議会の継続的、安定的な活動を確保し、設立目的を着実に実現できるよう、第3期中期計画に基づき、以下の取組に重点を置き組織を運営する。

1 財務運営

全職員のコスト意識を徹底するとともに、更なる自主事業の見直しや事業実施方法の効率化、科学館運営の合理化等に努め、支出の削減に努める。一方、公共団体等からの受託事業の拡大や新規会員獲得等、収入の増加にも努める。なお、中期的に安定した財務運営を行えるよう、収支ベース決算額の黒字化を目指す。

2 施設管理

老朽化する施設設備については、当面は事業特定資産の活用や国交付金の獲得等により適切な管理に努める。なお、昭和52年の開館以来、約50年が経過する科学館の今後の在り方について検討を進める。

3 組織人事

限られた職員で最大の組織パフォーマンスが発揮できるよう、引き続きガバナンス強化に向けた取組を継続するとともに、各職員の知識や経験を十分に生かせる職場環境を確保する。

また、職員の処遇等については、社会経済情勢を踏まえ適切に対応する。